

早稲田大学 人間総合研究センター主催 シンポジウム



「高齢期の住まいと介護；賢い選択を考える」

認知症や寝たきりになっても、尊厳をもって、自立した生活を維持する方法はあります。その条件は、適切な介護と住まいの確保です。人間科学の専門家と介護現場の専門家が、高齢期の賢い選択についてシンポジウムを開催します。

日時： 2017年11月23日(祝)18:30～20:30

場所： めぐるパーシモンホール 小ホール

シンポジスト：

松原由美准教授（早稲田大学 人間科学学術院 福祉経営）

大蔵暢 院長（やまと在宅医療診療所大崎 元ミシガン大学病院老年科医）

加瀬裕子教授（早稲田大学 人間科学学術院 老年学）

石橋孝士苑長（青葉台さくら苑）

中村浩士施設長（駒場苑）

鈴木博施設長（東が丘ホーム 目黒区福祉事業団理事）

田辺俊子課長（目黒区高齢福祉課）

参加費： 無料

事前申し込み； メール educoach618@kurenai.waseda.jp

当日参加も受け付けます。



主催：早稲田大学 人間総合研究センター 所沢市三ヶ島 2-579-15

問い合わせ：メール educoach618@kurenai.waseda.jp fax 03-3719-4565

共催：NPO 法人 高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク

後援：目黒区 協力：目黒稲門会